

院生活躍中!

RBS

NEWS &
TOPICS

ビジネスデザインフォーラムはビジネスデザイン研究科の長年の取り組みであり、ビジネスデザイン研究科のOB・OG 諸氏と現役生との交流の場として数少ないものであります。今回は特に、

- ①21世紀社会デザイン研究科との合同開催
- ②両科講師による授業の実施
- ③両科の先生による特別対談という取り組みとなり、多くの方々との交わり

の機会となりました。これらの取り組みは今回が初の試みであり、独立研究科創設15周年でのこうした取り組みが出来たことで、今後の両科での交流の一つの機会になったように思います。

授業は各自が授業を選択し、各自で移動して授業を受ける、という仕組みになっており、個人での意志尊重と選択による責任を認めている、という形態です。ここには独立研

究科にあるべき姿があり、それが、両科、OB・OG、現役生問わず、その教室にいる、ということでその刺激の多様性や交流の可能性を広げていると感じました。幸いにして参加者の皆様の御協力もあり、授業の内容や、交流の機会としても皆様にお喜びいただけたように思いますし、非常に良い機会になりました。引き続きイベントとしての繁栄を祈念します。



文 = 14期生 / 豊崎 勝啓

ビジネスデザイン研究科 15周年記念行事 / 修了生座談会

文 = 13期修了生 / 阿部 正樹

この度はビジネスデザイン研究科15周年記念における修了生座談会に登壇させていただき、大変光栄でした。私が選ばれた理由は定かではありませんが、修了直後であること、



また他の登壇者の引き立て役であるという他思い当りません。いずれにせよ、この場を借りて感謝を申し上げます。

座談会では、亀川先生がモデレーターとして和やかな雰囲気を演出くださり、時には鋭く、且つアカデミックな質問を投げかけられました。その中において、印象深い質問と私が答えた回答をご紹介します。

質問: 研究科での2年間で、どのような学びや出会いを得て、それが現在の仕事とどのように関わっているのか。

回答: 大学院において得られるのは、財務分析やビジネスプラン策定などのビジネスに関するスキル醸成や学位取得だけに留まりません。独自の人脈ネットワークを築くことができます。ビジネスをタイムリーかつスピーディに遂行するうえで、人的ネットワークは極めて有効です。RBSを通して職場以外の人的ネットワークが大きく広がり、それがキャリア形成上、得がたい貴重な財産となりました。

会社や家庭とは異なった場所即ち、サードプレイスにおいて濃密な2年間で過ごした仲間とは特別な絆が生まれました。これまでの会社人生では、決して築くことが出来なんでしょう。この貴重な経験やネットワークは、今後の人生における自信へと繋がり、私自身のバックボーンとして、これからも支えてくれることは間違いありません。おそらく、RBS現役生ははじめ修了生の皆様も似た心境ではないかと思います。

MBA-MARCH

文 = 15期生 / 青樹 宏一

MBA-MARCHは、明治、青山学院、中央、法政、立教の各ビジネススクールの学生や修了生を中心に、シンポジウムや各校の講義体験などを通じて交流を図る団体です。



今回は、2016年11月19日明治大学グローバルフロントで開催されたMBA OPEN LAB (MOL)について報告します。参加人数は、およそ30名、うち立教から3名の参加でした。明治大学ヘンリー・アンダーセン教授による、「創造的思考を促す為の効果的な方法とリーダーシップ」というテーマに基づき、2時間の講義を行いました。

最初の40分程度は、インタラクティブな講義が中心でした。残りの時間は、事例として、MBA-MARCHの活動をより深く知って貰うことを目的にどのような方法を用いればよいか?というディスカッションと発表を即席で編成されたチーム(各大学混合)で行いました。

アンダーセン教授による、参加者が積極的に発言できるよう配慮がなされた非常に丁寧な指導の下、ブレインストーミングの様々な手法や異なる意見の集約プロセスについても学んだ次第です。

その後、学内のラウンジで懇親会開催となり、各校のカリキュラムや抱える問題、参加者の多様なバックグラウンドについての情報交換の場にもなりました。MOLについては今後、各校持ち回りで、それぞれの名物教員による講義を行うことが予定されています。